

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会
平成 26 年度 第 8 回理事会 議事録

- 1.開催日時 平成 27 年 1 月 16 日 午後 6:35～午後 7:55
- 2.開催場所 日本大学経済学部 8 号館 2 階、産業経済研究所研究室
- 3.理事総数 17 名
- 4.出席者数 6 名（書面表決書 4 名）
出席者（佐藤文宏、山西哲郎、宇佐美彰朗、保原幸夫、小林均、岩山海渡 敬称略）
書面表決書（黒田伸、森川貞夫、鈴木良雄、前河洋一 敬称略）
オブザーバー（池上孝則、櫻井由香 敬称略）
- 5.議長選任 議長として佐藤文宏氏が選出された。
- 6.議事の経過の概要および議決の結果
- 第 1 号議案 前回理事会（12 月 5 日開催分）議事録に関する件
保原氏から各理事に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったため承認されたものとする旨報告があった。
- 第 2 号議案 議事録署名人の指名について
議事録署名人として山西哲郎氏と岩山海渡氏が選出された。
- 第 3 号議案 各種ランニング教室について
保原氏より各事業の状況について報告があった。
- J S I E マラソン完走教室
参加者は毎回コアメンバーだけの 3～4 名で推移している。大会シーズンに入ったので、新規の参加者も少し増えている。
- 熟年ランニングスクール
在籍者 10 名中、毎回 6～8 名の参加で実施している。ランステの神保町店が夜間のみの営業になったので、麴町店に変更になった。
- 浦安・美走塾
本年度の 2 回目は 12 月 13 日(土)で無事終了した。
- 第 4 号議案 市民ランナー交流セミナー・国際交流駅伝について
保原氏より進捗状況について報告があった。
- 第 5 回国際交流駅伝
最終的に一般（有料）の参加申し込みは、駅伝 38 チーム、個人 10 km 11 人となった。
これに、招待の JSIE マラソン完走教室 3 チームと大使館 2 チームを加えて、合計 43 チームとなる。
最近、皇居周回コースは規制強化に伴って、各大会共に参加人数が減少しており、当駅伝も前年比 60%程度の参加にとどまった。したがって、収益は望めない状況である。
大塚製薬からドリンクを提供して頂けるかどうかは、山西氏が確認する。

■第7回市民ランナー交流セミナー

前回理事会後、会場を含めプログラムの大幅見直しが生じたので、年末に関連団体への案内をする事ができなかったが、先週末に約800大会の主催者宛に案内状をメールで送付した。なお、メディア関係に関しては記者クラブに案内を出している。まだ参加申込は1大会のみなので、各理事からも参加してくれそうな方への案内をして欲しい。

前理事会以降に変更、確定した事項は下記の通りである。

【会場】

東京海洋大学越中島キャンパス（越中島会館、マリンカフェ）

【総合司会】

黒田氏 → 保原氏

【第二部：パネルディスカッション】

－コーディネーターは比嘉氏から黒田氏に変更。

－パネラーは山西氏、増島氏、小野田氏、上野氏は決定。

旅行業者代表として、最も海外からのインバウンドに力を入れている近ツリに折衝したが、東京マラソンの関連イベントを担当しているため参加できないとの回答だったので、HIS・メルボルンの山口氏に相談中。日本本社の担当者あるいは山口氏自身が参加予定。ただし、山口氏はスカイプでメルボルンから参加する。

【第三部：懇親会&パスタパーティ】

－東京海洋大学内のマリンカフェで開催。パスタ等はケータリングで対応。

第5号議案

トスカーナ・トレーニング・キャンプについて

保原氏より、森川氏経由で杉田さんから届いたキャンプの案内書について説明があり、今後の取り組み等について審議した。

■キャンプの概要

ホテル、トレーニングコース、スポーツジム、医療施設などを含む総合トレーニングキャンプで、有望な新人、チャンピオンを目指すエリートランナー、アマチュアや一般のランニング愛好家たちに向けたプログラムで活動している。

■シニア向けプログラム

森川先生から提案があった、比較的時間に余裕のあるシニア向けプログラムの可能性について問い合わせたところ、そのようなプログラムを作りたいとの返事があった。内容はキャンプの特徴を活かし、海外合宿のイメージでパッケージには宿、食事、トレーニングに加えて基礎的な運動生理データ採取などを含めたいとのことである。

また、オプションとしてはマッサージや医療施設を使った検査、治療も可能とのこと。

■メルボルンマラソンへの選手派遣

当キャンプではウガンダ陸連との契約に基づいて、ウガンダチームがトレーニングをしているので、招待選手基準の2時間10分以内の選手を派遣する可能性について問い合わせたところ、現在キャンプ内には2時間12分程度の選手しかいないが、ウガンダ本国には2時間7分台の選手がいるので可能との返事があった。

今後、上記案件を中心に前向きに連携活動の検討をしていくことになった。

第6号議案

役員改選について

基本的には継続を前提に現役員の皆さんに留任の意思確認をしたところ、理事の岡田繁氏、釜崎太氏、近藤克之氏、比嘉正樹氏および関口美奈子氏からは辞任したい旨連絡があった。今回、理事会に出席頂いている池上孝則氏には理事就任を櫻井由香氏には監事就任の打診をしたところ快諾を頂いた。

本年度の最終理事会では平成27年度～平成28年度の役員を決定したいので、新規の役員についてはそれまでに推挙して頂くことにした。

第7号議案

その他

■会員について

以前理事を務めて頂いた高橋慎一氏が再入会することになった。

■次回理事会について


2月13日(金)の午後6時30分から理事会を行うことになった。


以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後7時55分議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

平成27年1月16日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長 佐藤 文宏 

議事録署名人 山西 哲郎 

議事録署名人 岩山 海渡 